

ふなだ

No.166
28年/4



発行：山形県舟形町議会
平成28年4月22日



ドキドキわくわくの入学式

1・3月臨時会・3月定例会概要・質疑応答…	2 P
予算審査特別委員会概要・質疑応答……………	5 P
一般質問に9議員……………	9 P
町民の声・議会活動……………	18 P
人事案件・請願・陳情……………	21 P
えがったなあ・編集後記……………	22 P



仲良くしてね (ほほえみ保育園)

第1回臨時会
1月14日
3月定例会
3月9日～17日
第2回臨時会
3月30日

ふるさと納税大幅増 3億円を補正し、7億円に達する見込み

3月定例会は、9日から17日までの会期で開催し、9人の一般質問に続き、一般会計・特別会計補正予算等、全議案を原案どおり賛成多数により可決しました。
28年度当初予算については、特別委員会を設置し本会議において承認しました。

主な事業（27年度補正予算）

- ▽財政調整基金積立金……………5000万円
- ▽公共施設整備基金積立金……………4190万円
- ▽ほ場整備事業費……………1090万円
- 28年度へ繰越事業
- ▽総合行政システム事業……………1300万円
- ▽臨時福祉給付金事業……………2639万円
(低所得高齢者および年金生活者等支援)
- ▽農業振興事業……………2071万円
(担い手確保・経営強化支援事業補助金)
- ▽農業用施設災害復旧事業……………2660万円
(三光堰頭首工復旧事業の工期延長)

第1回臨時会

- 平成27年度一般会計補正予算
- 財産の無償貸付（相手方 社会福祉法人 陵風会）

3月定例会

- 平成28年度一般会計、特別会計当初予算
- 平成27年度一般会計、特別会計補正予算
- 過疎地域自立促進計画の策定
- 町一般職の給与に関する条例等の一部改正
- 町特別職の給与に関する条例の一部改正
- 教育長の勤務条件に関する条例の一部改正
- 町営住宅管理条例の一部改正
- 舟形町副町長の選任

第2回臨時会

- 平成27年度一般会計、特別会計補正予算

質 疑 応 答

第1回臨時会

平成27年度一般会計補正予算

議員 ふるさと納税返礼品の7割以上が米であるが、米生産者への直接的な還元がされていないのではないか。

町長 現在は米を通常通り購入し返礼に充てているので、米生産者へ直接還元はされていません。寄附額から返礼品の必要経費を差し引いた2〜3割は基金に積み立てられるので、今後はいろいろな振興策の財源として活用していきます。その中で生産者への還元についても検討していきます。

3月定例会

平成27年度一般会計補正予算

議員 ふるさと納税を今後も増やしていくためには、新たな戦略を考える必要があるのではないかと。一例として、お楽しみ抽選券等をつけたいかどうか。

まちづくり課長 返礼品については、検討することが必要と考えています。抽選券等については可能かどうか、国の通達等を確認します。増やすためのアイデアを町民のみならずからも提案してほしいと思います。

議員 婚活推進事業が1200万円減額されているが、今年度は事業を行わなかったのか。

まちづくり課長 26年度から繰越した地方創生交付金で、27年度も前年度と同様の事業を実施しました。当初予算に計上していた同じ内容の町単独予算分を減額しました。

議員 町内会の防犯灯のLED化の進捗状況と今後の対応は。

総務課長 27年度で16町内会の切り替えが完了しました。28年度で残り16町内会（197基）のLED化により、すべてが完了する予定です。

主な審議された議案



高い評価を得ている除雪作業

議員 除雪対策費の中に現場管理委託費が計上されているが、いつから、どのような業務を行っているのか。また、本当に必要なか検討すべきである。

地域整備課長 本業務は除雪体制を2工区に変えた25年度に新設し、11工区に戻した後も引き続き委託しています。町民の要望に迅速に対応するため、降雪量の判断、日中の雪・雪崩・路面の状況の把握、その他事務連絡、町除雪担当者の事務軽減を図る等、効率の良い除雪を行うため継続的にお願いしています。除雪の苦勞を軽減するため、このことを含め、雪の問題について様々な検討を行なっていきます。



新しくデザインされた「縄文の女神米」のパッケージ

骨格予算を承認



奥山謙三 委員長

平成28年度の予算審査は、町長交代により骨格予算での審査となりました。3月11日より16日まで予算審査特別委員会を設置し、委員長に奥山謙三・文教民生常任委員長、副委員長に斎藤好彦・議会広報常任委員長を選出し、一般会計および特別会計を審査し、「特に留意する事項」を付して議長に報告しました。

- 一般会計 **47億1600万円** (前年比：7.3%増)
- 特別会計 **24億2740万円** (前年比：0.6%増)
- 27年度繰越事業 **8671万円** (災害復旧費ほか)

主な事業

(新規事業)

- 地域農業水利施設事業 (大平揚水機場送水管整備) 3 0 2 0 万円
- 6次産業化応援事業 (舟形マッシュルーム) 1 6 0 0 万円
- 診療所事業 (診療所屋根改修工事) 1 1 4 1 万円
- 森林所有者情報整備事業 (森林所有者の管理システム) 4 4 0 万円

(継続事業)

- ふるさとづくり応援事業 (ふるさと納税) 6 億 4 3 万円
- 除雪対策事業 (除雪委託費) 1 億 4 9 7 7 万円
- 社会資本総合整備事業 (町道整備事業) 1 億 3 6 5 万円
- 中学校管理事業 (空調設備工事ほか) 4 9 8 6 万円
- 防災事業 (県防災行政通信再整備工事) 3 0 7 9 万円

特に留意する事項

当初予算計上について

平成28年度当初予算は、町長就任直後という理由から骨格予算とした予算計上であるが、これまでの事業予算も除外されている案件、さらに議会承認を得ている事案についても精査対象となっている。

については、行政の継続性も勘案しながら、早急に関係各課連携し十分な精査を行い、町民の福祉増進のため速やかに進めるよう求める。



筋力アップ講座

国民健康保険特別会計補正予算

議員 一般被保険者高額療養費の減額要因は。

税務福祉課長 人工透析利用者の減少に加え、ジェネリック医薬品の普及や入院期間の短縮などにより、療養費が減額になりました。

介護保険特別会計補正予算

議員 介護一次予防と二次予防事業の取り組み内容は。

税務福祉課長 一次予防は元気な高齢者を対象に、介護状態にならないよう、認知症サポーター講座などを開催しています。二次予防は、要支援見込み者の実態を把握して、対象となった方に筋力アップ講座などの取り組みをしています。

過疎地域自立促進計画の策定

議員 町長は雪対策に力を入れると言っているが、過疎自立計画書に一部地区の計画はあるが全町にわたる流雪溝計画がないのはなぜか。

町長 全町にわたる流雪溝計画は別にあります。流雪溝は万能ではなく、投雪方法等利用者の利用方法に制限がある。地元からの要望があれば検討していきます。

議員 過疎計画にある、若者やU・J・ターン受け入れのための環境整備とはどのような事業なのか。

まちづくり課長 起業支援や資格取得補助金事業のほか、子育て支援住宅整備事業などを想定しています。今後、民間賃貸住宅家賃補助事業も検討していきます。

人事行政運営に関する条例の一部改正

議員 人事評価の公表はこれまででも行なっていたのか。今後どのような方法で行うのか。

総務課長 これまでは公表していません。4月から人事評価制度が導入されます。今はそのための研究会、自己評価のシート作成の段階です。今後は順次面談等を行いながら、自己評価と課長等による評価を総合的に判断し、年度末に最終の評価を行います。

副町長の選任

議員 若さと行政経験の豊富な新町長には町民が期待していましたが、突然の副町長に頼るような政治姿勢に町民は落胆している。また、副町長の人件費を考慮すれば、3名程度の雇用も創出されるのではないか。もう少し熟慮すべきではないのか。

町長 訴えてきた政策を早期に実現するために副町長を置き、行政内部をしっかりとしたいと考えている。人件費がかさむのは事実であるが、その分副町長にしっかりと仕事をしてもらいますので、理解していただきたい。



要望が多い流雪溝

質 答 応 疑

一般会計

歳入

議員 老人クラブ運営費補助金の内容は。

事務福祉課長 28年度は本町（舟形1、2、3、4）に老人クラブが再編成されて16クラブになります。運営費として16クラブで22万4千円、個人分で11万8千円、合計34万2千円が県からの補助金です。



白熱している輪投げ大会

議員 宅地売却収入は470万円を見込んでいますが、宅地はあと何区画残っているのか。今後のPRや価格面での対策は。

総務課長 内山地区が3区画、ひだまりタウンが1区画残っています。看板、ホームページ等でPRしています。価格等については、住宅政策も含めて検討します。

議員 多目的グラウンド使用料が千円しか予算計上されていないが、使用状況は。

産業振興課長 多目的グラウンドは温泉下のグラウンドです。現在、夜間照明を使用しないでの利用とさせていただきます。また、サッカークラブ等が利用していますが、使用料の減免対象となる団体の利用がほとんどとなっており、使用料が少額予算となっております。

歳出

議員 財産管理費の庁用器具費367万円の内容は。

総務課長 自動体外式除細動器（AED）について、現在13台設置しており、うち11台を更新し、6台を新規で設置し、計17台を導入する予定です。
※新規設置場所
・猿羽根山体験実習館
・若あゆ温泉センターハウス
・民俗資料館
・B&Gセンター持出用
・観光物産センター
・うど山斎場

議員 元気な6次産業化応援プロジェクト事業の内容は。

産業振興課長 舟形マッシュルームの事業で、温泉下の施設に農家レストランと試食販売スペースを整備する事業です。

議員 営農相談事業費のうち、推進指導監賃金の内容は。

産業振興課長 月に2回程度、山形在住の方に新規作物や既存作物の栽培指導を行なってもらうための賃金です。



舟形の特産品として商品化された「つくねいも」

議員 集落支援員の活動内容は。
まちづくり課長 現在、富長地区と堀内地区に1名ずつ配置しています。集落の現況を調査して課題を掘り下げ、話し合いを行い、課題解決に結びつけていくことが一番の任務です。



活動報告をする集落支援員

議員 地域協働環境整備事業の内容は。

まちづくり課長 原材料費と重機借上料はこれまでと同じ上限20万円です。新規に災害復旧事業として100万円を限度額とし、国、県補助の適用にならない環境整備事業を想定しています。



「スマッシュ長沢」の作業の様子

議員 除雪サービス扶助費の間口除雪や高齢者宅除雪について、今後、何らかの新たな対応の考えはないのか。

事務福祉課長 玄関先除雪は700円から800円、屋根の雪下ろしは1万円から1万2千円、回数も2回から4回へ増やしたことで、予算的には150万円増額しています。協力員も高齢になっているので、地域整備課と協力して対応していきます。

※一般質問とは：定例会において、議員が町の施策の状況や方針などについて、報告、説明を求めたり質問・政策提言をすることです。



大規模化が求められる水田農業



奥山 謙三 議員

舟形町農業のビジョンを問う

生涯設計が立てられる農業の確立を目指す

質問 森町長の選挙運動用ビラには、農業を元気にするための具体策として、次のことが掲載されています。

- 独自のブランド米や特殊米など、売れる米づくりを推進します。
- 園芸農業を推進し、安定した農業経営の確立を目指します。
- ほ場整備を推進するため、町の補助率を増やします。
- 定年後の農業や、生涯現役の農業者を支援します。
- 農業経営指導により、農業に就職する若者等を支援します。

えらぶような、町の魅力の一つに農業を育てていきたいと思えます。

○定年後の農業や、生涯現役の農業者を支援します。

今後の農業を中長期的に見ますと、農業や農地を持続していくためには、集落営農の組織化、法人化は必要不可欠なものと考えています。

町長 私の考える農業は、町の自然や風土気候を生かした産業としての農業であり、安定的な収入確保により、生涯設計が立てられる農業です。

魅力ある産業に育て、ずっと住み続けたいと思



いきいき健康づくりとしてのグラウンドゴルフ

専用グラウンドゴルフコースの設置を調査検討する

質問 閉校されたグラウンド等を活用して専用コースを設置することについて質問します。

町長 現状では、若あゆ温泉に設置された常設コースの利便性向上を図ることを目的に、段差の解消や未使用地への駐車場の設置が可能か調査検討をしてきたいと考えます。



子どもたちの放流の様子

議員 森林所有者情報システム整備委託料とは。

産業振興課長 森林を把握するのに写真等で管理していましたが、このシステムにより境界の明確化、所有者の異動、位置や面積など、より正確な情報を管理できるようになります。

議員 サケのふ化場建設に関して、用地購入費が計上されているがその理由は。

産業振興課長 ボーリングを3箇所する予定となっており、水源地から施設への配管設置の用地購入費です。

議員 町営住宅管理事業の工事請負費1589万の内訳と、今後の大規模改修の考えは。

地域整備課長 舟形団地2号棟排水管更生工事648万円、木友団地屋根改修工事791万円、子育て支援住宅ハイムひだまりⅢ物置設置150万円です。今後、舟形団地3号棟の大規模改修を予定しております。

議員 道路新設改良工事の内容と用地購入箇所はどこか。

地域整備課長 舟形一の関線歩道設置工事、紫山内山線道路改良工事、真木野山家線消雪関連工事です。用地購入は、一の関線歩道設置工事に伴う用地購入です。

議員 舟形中学校用地借上料の今後の取り扱いをどうするか。

教育次長 中学校用地の一部の借地料を三菱マテリアルに毎年支払っています。買収金額が折り合えば購入する考えはありません。

校舎が今年で築33年になるので、近い将来、大規模改修をするか、または現在の中学校用地が土砂災害の土石流危険区域の指定地域内にあることから、保・小・中の近接型一貫指導体制を視野に入れて舟形小学校の所に移転するか、5年以内を目処にどちらを選択するか決定したいと考えています。

議員 社会教育総務費に昨年実施された通学合宿の予算が計上されていない。たいへん良い事業と想っていたが無くなったのか。

教育次長 今年度は生涯学習推進事業に計上しています。

※通学合宿とは
子ども達が各地区の集会所などで共同生活をしながら通学する体験学習



楽しそうな子どもたち

議員 縄文の女神振興策について、文化財保護の観点からどのような振興策を考えているのか。

町長 前町長の取り組みを継承する形になると思いますが、文化財保護の観点と、振興策を分けて今後検討したい。また、県立博物館の分館建設は、県の方針もあり難しいと考えています。



小国 浩文 議員

買物弱者対策について

直接買物できない消費者への対応

質問 移動販売車購入助成事業補助金について、町の商店街の方々のことから、どなたも手を挙げていただけなかったとのことですが、高齢化が進んでいく状況の中で、この

まま町として何も手を打たないわけにはいかないと考えますが、町長の考えを伺います。

町長 買い物に不便をきたしている方々には、これまで町が直接弱者等に支援していく形式ではなく、各事業所で食材の配達事業を積極的に進めているなどの努力により、成り立ってきているものと認識しています。

そのような中、現在民間で行なっている既存の運営体制に対する支援を行いながら、商店経営者や商工会および関係機関と話し合いを持ち、対応をしていきたいと考えています。

舟形町振興公社について
民間出資は今後検討

質問 町振興公社においては、100%町の出資での運営になっていますが、大石田町などでは民間からの出資を頂き、たいへん良い状況になっているようです。今後、町としても民間からの出資を募り、振興公社の活性化を図っていくつもりがあるのか、町長の考えを伺います。

町長 民間からも出資者を募り、民間の力を活用しながら運営できる体制を整備することは、確かに必要かと思いますが、施設の老朽化に伴う大規模改修も今後、年次的に計画しなければならぬ

状況にあること、また、若あゆ温泉は町民の憩いの場、町民の健康維持・増進施設として利用していただいていることから、

現在は、企業等からの出資をしていただくことについては、もう少し先の話と考えています。



振興公社管理の舟形若あゆ温泉



石山 和春 議員

人口減少について問う

総合戦略の施策を重点的に挙げる

質問 「日本創生会議」が、衝撃的な報告書を発表しました。何もしなければという前提付きの議論でありますが、山形県では35市町村中、28市町村が消滅可能性ありというものです。本町の人口は、10年前と比較して1040人減少、5年前と比較しても533人減少となっています。

少子高齢化の中、具体的にどう取り組むのか、町長の所見を伺います。

町長 町においては、まち・ひと・しごと創生法に基づく総合戦略を策定し、4つの基本目標を掲げました。

農業を基幹産業とする当町においては、農業の生産・経営体制の強化と



未来を担う子どもたち

意欲ある農家の育成、園芸作物栽培支援などに努力します。また、新庄工業団地企業誘致促進や、管内市町村と連携し企業支援も行なっています。子育ての経済的負担感を減らすため、保育料2分の1の額を給付する「ほほえみファミリーサポート給付事業」、18歳までの医療費無料化事業は、平成28年当初予算でも計上します。総合戦略による施策を重点的かつ地道に続けることが大切であると認識しています。

堀内橋架け替えの今後の要望活動は平成30年に着手予定

質問 堀内橋は、昭和31年の竣工から早59年が経過し、60年目になります。今後、測量、設計などの調査をしても、工事が完成するまでは、かなり長い時間がかかるものと考えます。住民の不安を1日も早く払しょくし、安全、安心に渡れ、生活できるよ

うに早期着工を進めるために、今後どのように進めていくのか町長の考えを伺います。

町長 平成10年頃から舟形町では、松橋地区に観光フラビ園の整備やグリーンツーリズムなどの観光振興、そば街道などの観光PRにより交通量が増え、地域住民から架け替えの気運が高まりました。平成15年7月には、「堀内橋架け替え促進総決

起大会」を開催し、期成同盟会の総意として山形県に要望しています。その後も平成23年から毎年、要望活動を行なっています。平成28年度は、道路詳細設計業務を発注する計画になっています。山形県の計画では、堀内橋の着工を平成30年に計画しています。1年でも早く実現できるように、積極的に要望活動を推進する計画です。



早期着工が待たれる堀内橋



伊藤 欽一 議員

故郷が好きになるまちづくりを問う

縄文の女神に関連した教育活動を導入予定



縄文の女神を題材とした授業

質問 舟形町総合戦略は、町民の皆様の声や多くの方々からの貴重なご意見を基に、四つの具体的な施策が示されています。しかし自分の住んでいる舟形町に誇りを持ち、この町が好きになり働かなければ、これからの若者たちが住み続けてくれるのか疑問に思っています。森町長の選挙公報に「住

町長 町民の皆さんに豊かさを感じ、舟形町を誇りに思ってもらうには、子供たちが豊かに生きる将来に向け、地域の人と触れ合ったり、地域の行

質問 舟形町で生活していくうえで大きな負担の一つになっているのが雪対策です。きめ細やかな除排雪を考えた場合、町道規格に加え地域の立地条件に即した町独自の生活道路整備をすることで、高齢化社会の対応と安全安心して暮らせる住みよいまちづくりができると思いますが、町長の考えを伺います。

生活道路の整備について問う

除雪可能な道路構造に整備する

事に楽しく参加したり、自然や伝統文化にかかわったり、ボランティア活動に参加するなど、地域のことを学び、体験することが重要です。中学校ではこの二年間、舟形町の歴史授業を行い、子供たちに好評でしたので、縄文時代や国宝「縄文の女神」に関連した教育活動を今後、段階的に導入していく予定です。

町長 生活道路の整備要件は、延長200m以内幅員2m以上として、工事費の半分を補助しています。除雪対象とする路線の要件については、①防火防災上、必要な路線であること②舗装されており延長50m以上③幅員2m以上④末端戸数3戸以上、となっております。少子高齢化に対応したきめ細かな除雪サービスを



改良が待たれる生活道路（大平町内）

実現するために、基準を見直す必要があり、対策として①町内すべての生活道路の洗い出し。②検討委員会を組織し除雪箇所を決定する。③除雪するための要件を整備し、除雪可能な道路構造に整備。これらを28年度の除雪計画に組み入れたいと考えております。



初めての所信表明演説

質問 平成4年以来、24年ぶりの選挙戦を通し、町民が選んで町長を決めることができたことは意義深いことだと思えます。一票でも勝てば勝者となりますが、町長自身も各所で発言されている様に、いまだに約三分の二の町民の支持を得ているわけではありません。

町長 24年ぶりの町長選挙の意義は、町政を担う町長を選べることであり、新しい舟形町のスタートだと思っています。その選挙に、3人が立候補して私が最多得票により当選し、町長に就任しました。

町長は折に触れ「オール舟形」の実現を目指すと言っているが、この3分の2の町民の理解を得ていく一つの政策として「オール舟形」という考え方があるものと思えます。しかし、その具体的な考え方や方針が見えません。具体的にどの様に町民とかかわり、どのような政策を実行してオール舟形を実現していくつもりなのか質問します。

3分の2は支持していないと佐藤議員は言われますが、厳しい選挙戦を戦ってきた私は、たかが3分の1、されど3分の1と言わなければ、支持をいただいた方々に申し訳ない気持ちで一杯です。しかしながら、当選直後のインタビューで、投票した町民の3分の2は他の候補を支持したので、その方々の想いもしっかりと受け止めてまちづくりを進めまうと言ったところが、まさにオール舟形という意味そのものです。24年前の選挙、それ以前の選挙も含めて、選挙後にしこりが残り、町政運営がぎくしゃくしたことは、「政争の町舟形」が物語っています。そのため、24年ぶりの選挙後はノーサイドで、

大所高所に立ち足々非々でまちづくりを進めるといふ私の気持ちを表したものであり、政策を推進する際の前提条件を表したものです。したがって政策実施や行政運営の中で、他の候補者の支持者だからと言って差別することなく、大所高所に立ってしっかりとやっていくことが、まさにオール舟形でまちづくりをするということでもあります。

大所高所に立ち足々非々でまちづくりを進めるといふ私の気持ちを表したものであり、政策を推進する際の前提条件を表したものです。したがって政策実施や行政運営の中で、他の候補者の支持者だからと言って差別することなく、大所高所に立ってしっかりとやっていくことが、まさにオール舟形でまちづくりをするということでもあります。



24年ぶりの選挙戦を告げるポスター



佐藤 広幸 議員

オール舟形とはどんな政策か

政策を推進する前提条件



叶内 富夫 議員

選挙戦の勝因は

退路を断っての挑戦



町民の想いが詰まった当選証書

【質問】 山形新聞の記事の中で「24年ぶりの選挙戦となったが、勝因は。」の問いに、「出遅れ感もあって選挙の難しさを実感した。勝因は正直言ってもわからない」と答えていましたが、現時点ではどのように分析をし、政策に反映しようとしているのかお聞かせください。

【町長】 選挙の勝因についての質問ですが、山形新聞のインタビューで答えました通り、正直よくわかりません。山形新聞の話では、出口調査等での私を支持した人の話として一番多かったのは、「早期退職し退路を断って挑戦している気概」とのことでした。現時点でも勝因

【質問】 「森の政策」について伺います。

1. 舟形の元気をつくります。
2. ずうーっと舟形に住んでもらえるようにします。
3. オール舟形でまちづくりをします。

と3つの大きな目標、政策がありますが、優先順位は、また、奥山前町長との違いをお聞かせします。

【町長】 政策の優先順位についてですが、緊急にやらなければならないものから始めていきます。内

部で議論が必要なものや調整が必要なもの、また、町民の皆さんと議論や調整、または説明が必要なものについては、じっくりと時間をかけて実施していきます。

また、奥山前町長との違いについてのご質問ですが、私は政策の優先順位に疑問があると申し上げ



“舟形再生、へ向けて新年度の訓示をする森町長



斎藤 好彦 議員

子育て支援の充実強化を

平成29年4月を目処に保育園を民営化



子育て支援センターで仲良く遊ぶ子どもたち

【質問】 子育ての基礎である保育園の運営方針については、議会のなかでも度々議論されてきましたが、職員体制については一向に改善されず、現在に至っております。前町長が提言されてきました「保育園の民営化構想」について、新町長の見解を伺います。

また、新町長が選挙公約に掲げた「子育て支援策」について、町長の考えを伺います。

【町長】 保育園の雇用形態は、正規職員が3名で、園長、給食職員を含む24名は1年雇用の臨時職員であり、雇用環境の改善が喫緊の課題と言えます。民営化については、平成29年4月を目処に舟形町福祉協議会に委託することを検討していると、前町長から話がありました。私もこの計画には賛同し、今後保育の充実、雇用環境、就労環境の改善を視野に入れて民間委託の実施に向けた具体的な検討を行います。

また、選挙公約に掲げた病児・病後児保育の充実については、医療機関との連携、そして、看護師・保育士等の職員体制など数々の課題があり、今後、事業実施に向け一つひとつ整理しながら、子どもが安心安全に過ごせるような子育て環境を整えていきたいと考えています。

との連携、そして、看護師・保育士等の職員体制など数々の課題があり、今後、事業実施に向け一つひとつ整理しながら、子どもが安心安全に過ごせるような子育て環境を整えていきたいと考えています。

【質問】 東日本大震災による福島原発事故や計画停電の実施などにより、エネルギー政策への国民の関心が高まり、一般家庭向けの「電力小売りの自由化」が本年4月からスタートすることを受け、本町の公共施設の電力購入を新電力会社に切り替

え、経費削減をする考えはないか伺います。

【町長】 町公共施設の電力契約数は17件あり、26年度の年間電気料金は548万5千円となっております。契約形態も高圧業務用電力・一般家庭用契約までいろいろな契約形態があり、契約相手方を



いよいよ電力自由化がスタート



佐藤 勇 議員

「オール舟形」の実現に向けてを問う

可能な限り必要な対策を検討協議したい



米の返礼品全国1位の発送作業

質問 「オール舟形」のまちづくりについて伺います。

① 最優先に取り組みとしている克雪対策は、雪に強い住宅・流雪溝整備が急務と思うが町長の考えは。

② 農業を元気にするには、農地、農業、水を地域で

暮らす人と一緒になって守っていくことが大切であり、多面的機能支払交付金を最大限活用するために町全体を1組織とする取り組みについての考えは。

③ ふるさと納税の米の返礼品が、885トンと全国一位であり、寄附金、

返礼品の活用による小規模農家への支援、地域振興策の考えは。

④ 「農村集落活性化支援事業」活用による堀内地域の「地域づくり」の取り組みの内容について。

⑤ 次期町長選を冬場ではなく、町議選と同時期にしていく考えはないか。

町長 ① 克雪対策のひとつとして、自然エネルギーを活用した「大地熱融雪設備」を一般住宅へ普及出来るよう研究に取り組んでいきたい。流雪溝については、平成16年度に「舟形町消流雪施設整備構想」を作成し、整備促進を図っています。雪問題は、今後ますます高齢化社会が進行する中で、地域と一体となって取り組んでいきます。

② 多面的機能支払交付金事業に取り組んでいる保全会は、25地域保全会ありましたが、現在では19地域保全会となっております。今後は、各地域保全会の意向を把握しながら、可能な限り必要な対策を



農業用水路の維持管理共同作業

検討協議したいと考えています。

③ 27年度のふるさと納税応援寄附金は7億円を見込んでおり、まちづくりの財源として、交流人口拡大も含めて、地域振興のために有効活用し、今後、生産農家及び関係機関と連携を図り、生産農家へのメリットが反映される方法を検討していきます。

④ 平成27年度より5力年の事業期間で堀内地域協

議会に直接補助金が交付され、将来ビジョンを作成し、合意形成により地域の課題解決に向け取り組む事業であり、町としても堀内地区の動向を踏まえて連携して支援していきたいと考えています。

⑤ 私も雪国での2月の選挙についてはたいへん不適当だと考えており、選挙の時期を変更する方法を検討していきます。



加藤 憲彦 議員

消防団に関する法律・消防団員の確保について

災害に対処し得る消防体制の確立を図る



災害に立ち向かう消防団

質問 5600名町民の安心・安全について質問します。町では火災等が少なく、町民皆さまの防災意識が高く、消防団が予防消防に努力をしている賜物だと思います。

消防団を中核とした地域防災の充実強化に関する法律の成立を機に、東日本大震災の教訓を活かし、今後発生が懸念されるあらゆる災害事故に対処し得る消防体制の整備を目指さなければなりません。

消防団が役割を果たしていく上で、団員の確保は基礎的な条件であり、減少傾向が続いていることが憂慮されています。新法の消防団員確保に関する規定は、極めて重要な規定です。

町長 消防団に関しては、昨年、若干ではありますが、報酬の見直しを行いました。消防ポンプ積載車やポンプ小屋、防火水

槽の整備も計画的に実施しています。今年度も最上広域と連携できる無線受令機をすべての消防ポンプ積載車に搭載することとしています。町では、財政事情の許す範囲の中で装備品の充実を行ってきました。町としての責務を果たし、あらゆる災害に対処し得る消防体制の確立を図っていきます。

消防団員の確保についてですが、自分の地域は自らが守るという精神を創生するため、今後も地域の方々のご協力をいただきたいと考えています。町としては、報酬の見直しや装備品の充実、消防団に入りやすい環境づくりなどを消防団と話し合い、対処していきたいと考えています。



緊急道路としての早急な整備が待たれる岡矢場線

福寿野岡矢場線について
増額要望活動を進める

質問 福寿野・岡矢場線は防災面から道路改良を進めるとしましたが、着工の時期を質問します。

町長 平成26年度から社会資本整備事業の見直しを図り、堆雪幅確保の事

業計画から、「防災・救急ネットワーク道路」として位置付け、県道と同等の幅員を有する規格に変更し、整備を進めていきます。

国の予算配分が町の要求額に達していないのが現状であり、今後も引き続き、増額要望活動を進め、鋭意努力します。

声 声 声

皆さんの声を掲載する欄です。議会に対するご意見・ご要望等、どうぞお気軽にお寄せくださるようお待ちしております。

この度、昨年の10月になりますが、皇居で行われた新嘗祭に県代表として米を献上して参りました。新嘗祭とは、国民の健康、五穀豊穡を祝う、皇居の中でも最高の祭とされています。

現代では、町民にも余裕ができ、さらなる産業が出てきました。昔は、家族全員が食べていけるだけ働けば良かったが、時代が変わり、二次産業、三次産業が発達して農業が衰退してきています。その結果舟形町の人口も減少しています。農業は第1次産業であるし、農業は私たち町民の生きる原点、源だと思えます。その農業の価値観が変わってきています。

私は、米とラ・フランスを作っています。木を植えてから28年になろうとしています。大雪が降るとびや過酷な作業のたびに多々考えることがあります。しかし、この舟形町の活性化、魅力ある町、人が集まってくることを信じて、これからも自信と誇りを持って作って参りますので、議員の方々、農業の安定経営の見直しを宜しくお願い致します。



豊岡学さん (長者原)

収穫を楽しみにラ・フランスのせんに励む豊岡さん

総務振興常任委員会

1 日 時 平成28年2月17日(水)

2 調査内容(現地調査)

(1) 舟形マッシュルーム(若鮎ファーム)

平成26年度の「強い農業づくり交付金事業」により新設された施設を調査しました。

(総事業費：7億5400万円) (補助金：3億7000万円)

本事業では栽培舎(20棟)、作業準備棟、出荷準備棟の新設に加え、本社敷地内に廃液を液肥化する廃液・循環システムと無臭化システムも新設した。本システムにより廃液を液肥化することで「廃棄物ゼロ」を達成し、液肥の商品化も視野に入れており、すでに県内の農業用資材会社からも注目されている。また、関東圏域への出荷便を利用した最上一円の流れ拠点の構想もあり、最上地域の農業生産物の新たな流通機能として期待されている。

(2) 旧富長小農産物加工施設

(農山漁村活性化プロジェクト事業)

事業開始から2年目になる加工施設と経営概要について調査しました。

平成26年10月～27年12月までの売上実績は957万円であり、現在、生産原価、収益性などの分析を行なっている。

現在の取引先に加え、駅中スーパー、高級スーパー、JAL売店などと商談中であり、販路拡大に向け積極的に取り組んでいる。



新設された施設で説明を受ける(若鮎ファーム)

(3) 子育て支援住宅新築工事

(大地熱融雪設備工事)

大地熱による住宅の屋根、駐車場の融雪は効果があり、今後、本町での大雪対策への活用にも期待をしたい。

(4) 町道除排雪業務経費の執行状況

舟形町豪雪対策本部(平成28年1月22日)を設置しましたが、1月末現在での除排雪業務委託支出額は前年の54%にとどまっている。

文教民生常任委員会

1 日 時 平成28年1月20日(水)

2 調査内容

(1) NPO法人もがみ福祉ネット

「スマッシュ長沢」

旧長沢保育所に就労継続支援A型・生活介護事業所を昨年10月に開所しました。計画内容は理解していましたが、その後の状況の把握と今後の対応について、詳細に説明を受けました。

〈所感〉

計画していた利用人数には足りておらず、経営改善を行うには利用者の確保が喫緊の課題であることがわかりました。利用者の確保、仕事の確保の難しさを痛感しました。今後も継続して事業所の状況について注視していかねばならないと感じました。

(2) 社会福祉法人舟和会「光生園」及び

「えんじゅ荘」の現状と新光生園施設の視察

光生園・えんじゅ荘の利用状況と活動内容についての説明を受け、新施設を視察しました。現在の建物は今年9月末で解体する予定とのことですが、その後の利用については未定であるとのことでした。



「スマッシュ長沢」視察

〈所感〉

えんじゅ荘については、待機者解消に向けて努力していただきたい。光生園の新施設については、機能的には充分配慮されており、入所者にとっては住みよい施設となることでしょう。4月上旬の引越しの際には、入所者に寄り添って事故の無いようにお願いしたいと感じました。

議会運営委員会

1 日 時 平成28年2月25日(木)

～26日(金)

2 視察先

- ① 東北電力女川原子力発電所
- ② 宮城県 美里町議会

3 視察事項

- ① 女川原子力発電所の現状と安全対策及び現地視察
- ② 美里町議会訪問

4 所感

① 女川原発は現在稼働していません。今後稼働に向けて原子力規制委員会の安全基準を達成するため、膨大なコスト(3000億円程度)を掛けて工事を行なっていました。稼働に向けては地域住民の賛同が必須となりますが、東北電力の並々ならぬ努力を感じることができました。

② 美里町議会訪問は災害援助協定締結に向けて、相互理解と交流を進めるために実施しました。議会改革として美里町議会では通年議会の実施、常任委員会の持ち方等、参考になる事項が多くありました。これからの交流を深めることを確認し、有意義な意見交換にすることができました。

町内会長連絡協議会役員と 議会議員との意見交換会 (2月19日)

議会基本条例第4条第5項にあるように、議会は、町民の各種団体と意見交換の場を設けていきたいと考えています。
今回は、町内会長連絡協議会役員の方々と意見交換会を開催しました。町内会長は様々な役割を担っており、負担も大きいものと思います。各町内の中にある問題を把握し、いろいろな声を身近で聞いている町内会長さん方の意見を聞く貴重な時間となりました。議会として今後、町政に対する提言などに活かしていきたいと考えています。



町内会長連絡協議会役員との意見交換会

質問 議員定数の削減の考えは？

回答 現在の定数は10人で、議会構成を考えると最低の人数と考えています。
なお、このことについては、基本条例の中に任期中に定数と報酬について検討するとあり、いろいろな観点から考察してまいります。

質問 議会活動の状況などを議員から発信していく必要性があるのでは？

回答 必要性についてご意見の通りです。その手段として議会広報、議会報告会、今回開催しています各団体との意見交換会などです。その手法について絶えず検討していきます。
本会議の見える化も考えていますが、経費もかかることから検証しながら進めてまいります。

質問 選挙管理委員会の委員等の選出について

回答 選出の際には地域ごとに配慮し、資質、能力等を勘案して行なっています。
各種委員の提案の際には、議会として検証し進めてまいります。

質問 町営バスの利用者が少ない。今後の考えは？

回答 無料にしている実証試験運行を実施しましたが、利用者増には結びつきませんでした。
町民の足として、止めることも出来ませんが、運行効率を高めるために、議会としても提案をしています。
早急な解決策はありませんが、デマンドタクシーなど実施している町村もあるので、参考にしながら検討を進めるよう町に提案していきます。

質問 男女共同参画について。女性が前に出てくる足場づくりをお願いしたい。

回答 議会としても、女性活躍は望ましいと考えています。
これまででも女性登用の意見は多くあり、町でも意向を汲み、できることから進めています。
女性議員の立候補は多いに歓迎します。

質問 空き家問題について

回答 このことは、全国的にも大きな社会問題となっています。解体撤去は基本的には、所有者が行うのが基本です。その次が親類で、公的費用による撤去は厳しいものがあります。
公的費用で行なった場合でも、最終的には所有者に請求することになります。
この問題は、地域全体で進めていくのが大切と考えています。

質問 高齢者宅の除排雪について

回答 高齢者世帯が今後増えていくのは、間違いありません。雪の影響が人口減少の一因となっています。
自助・共助・公助の中で、公助には限界がありますが、共助は無限だと思います。その共助を有償ボランティアにして、団塊の世代や個人所有の除雪機械を活用して、多くはありませんが収入を得る道を検討する必要があると考え、町に提案していきます。

質問 新庄最上地区で企業誘致を進めてほしい

回答 若者の定着、Uターン・Iターンを増やすためにも必要ですので、最上広域で進めるようにします。

議会報告会 (4月4日～6日)

このたび、舟形町議会では第7回となる議会報告会を町内6か所(対象町内会：長尾・福寿野・舟形1、2、3、4・太折・大平・洲崎)で開催しました。

議会報告会の目的は、議会活動などの報告と町政に関する情報提供を行い、議会活動に対する意見などを直接お聴きして、議会の活性化に努め、住民の皆さんに信頼されるまちづくりを実現しようとするものです。

参加いただきました町民の皆さまの貴重なご意見を、今後の議会活動に反映させていきたいと思っております。
詳しい内容は7月号で報告します。



議会報告会の様子 (洲崎公民館)

舟形町副町長の選任に同意



酒井 雅彦氏
50歳 (山形市)

平成28年4月1日より就任

請願・陳情

3月定例会で審査した請願及び陳情は次のとおりです。

請願書 奨学金制度の充実と教育費負担の軽減に関する
採択

請願者

一般社団法人山形県労働者福祉協議会
理事長 岡田 新一

陳情者 軽度外傷性脳損傷・脳しんとうの周知と予防、その危険性や予後の相談の出来る窓口などの設置を求める陳情
採択

軽度外傷性脳損傷仲間会
代表 藤本 久美子

意見書

3月定例会で可決された意見書を政府、関係機関に提出しました。

意見書 奨学金制度の充実と教育費負担の軽減に関する

OECD(経済協力開発機構)加盟34か国のうち、半数近くの国の大学は授業料が無償で、32か国に公的な給付型奨学金制度が整備されている。大学の授業料が有償で、公的な給付型奨学金制度がないのは日本だけである。
若者を社会全体で応援し、急速に進む少子高齢化や地方の衰退に歯止めをかけるため、強く要望する。

意見書 軽度外傷性脳損傷・脳しんとうの周知と予防、その危険性や予後の相談の出来る窓口などの設置を求める意見書

脳しんとうを受傷しても通常、生命を脅かすこととはありませんが、治療を必要とする重篤な症状を引き起こす可能性があります。しかしながら、実際の教育現場や家庭ではまだまだ正確な認識と理解が進んでいないのが現状です。
同様の事故を繰り返さないためにも、適切な措置を講じるよう、強く要望する。



シリーズ

舟形町に嫁いで来た、お嫁さんをご紹介します。

えが ったなあ



□どんなきっかけで彼(ご主人)と知り合いましたか？
大学の部活で知り合いました。

□舟形町に嫁いで来て、どんなイメージを持ちましたか？
来た最初の日は猿羽根山の初詣のお手伝いだったのですが、最初静かな雪景色だな〜と思っていたら、ど
んどん人が集まって驚きました。

□舟形町での生活はどうですか？
雪が解けたり、芽が出てきたり、旬の山菜を食べたり、日々の天気の違いを感じながら暮らす生活がとても新鮮です。

□舟形町の良いところ・悪いところはありますか？
自分の町に温泉や釣り場、キャンプ場があつて雄大な山が望めるなんて、とても誇りに思えることだと私は感じます。しかし、町の方に聞くと「何も無い町」とおっしゃるので、もったいないと思います。自分も猿羽根山で仕事していく中で、町の方が気が付いていないような観光資源を、もっとアピールできればと考えています。

□舟形町に望むことはありますか？
今後、長く住むことを考えると、健康診断、予防接種、がん健診などの補助があつたり、子どもが学ぶ所、図書館等の文化施設が充実したりしていくと安心です。また、同世代の方と交流できる場があるとうれしいです。

舟形町に嫁いで来たお嫁さんです。
今回は、埼玉県から舟形に嫁いで来た梅津奈々子(旧姓橋本)さんです。
皆さんよろしくをお願いします。

お願い
「えがったなあ」に出てみませんか。
対象者は町外から嫁いで来たお嫁さん・お婿さんです。
(連絡先)
舟形町役場議会事務局
TEL 0233-32-2111(代)

次回の定例会は
6月8日(水)~10日(金)
までの予定です。
皆様の傍聴をお待ちしています。
お問い合わせ先
議会事務局 ☎32-2111(代)

表紙のことば
先輩方から歓迎されて入場している笑顔がいっぱいの新入生、入学おめでとございます。小学校には36名が入学し、保育園では143名が入園を許可されました。
舟形町の宝である子どもたちが、友だちと仲よく遊び、楽しく学べる環境づくりを、家庭、学校そして地域のみなさんと連携し、一緒になって育てていきましょう。
ガンバレ!! みんな

発行責任者
議長 八 鍬 太
議会広報常任委員会
委員長 齋藤 好彦
副委員長 奥山 謙三
委員 佐藤 勇春
委員 石山 文一
委員 小国 浩一
委員 伊藤 欽

編集後記
2月14日に執行された町長選挙で、森富広新町長が誕生しました。24年ぶりの町長選挙となり町民の関心も高く、投票率は88.48%となりました。
森町長には、これから4年間舟形町のリーダーとして指導力を発揮され、町民の負託に応えていただきますようご期待いたします。
3月11日、東日本大震災の発生から5年経ちました。震災と原発事故による全国の避難者は、今なお17万人以上に上り、プレハブ仮設住宅で5万7千人余りが暮らしています。1日も早い復旧、復興を祈ります。
議会だよりは、紙面の都合で文字数の制限があり、要約され主旨がすべて伝わっているか不安もありますが、読者が求める情報を発信したいと考えています。
(石山 和春記)